

氏 名 山崎 晃裕(やまざき あきひろ)



Profile

氏 名 山崎 晃裕(やまざき あきひろ)
所 属 順天堂大学職員
記 録 やり投げ 61m24
障 害 先天性疾患による右手関節部の欠損
(F46クラス)
出 身 埼玉県鶴ヶ島市
(鶴ヶ島第一小-鶴ヶ島西中-山村国際高校-東京国際大学)
テ ー マ 『ハンデがあるから面白い』

【山崎選手より】

右手首から先がない状態で生まれるが、幼少期から高校生まで健常者と共に野球に打ち込んだ。大学1年時に障害者スポーツと出会い、東京ブルーサンダースに入団(障害者野球チーム)。2014年には、障害者野球の日本代表に選出された。もう一つのWBCと呼ばれる世界大会で準優勝し、日本代表の優秀選手に選出。パラリンピックを見据え、陸上競技のやり投げへ競技転向し、現在は、ロサンゼルスパラリンピック金メダル獲得に向け挑戦を続けることにした。東京2020・パリ2024パラリンピック日本代表として2大会連続入賞している。上肢の切断、機能障害のクラスであるやり投(F46クラス)で61m24の日本記録を保持。

講演内容は、生まれつき右手が無い状態で生まれるが、小学3年生の時に野球と出会う。しかし、右手が無い事が1番不利となるスポーツは野球である。最初は「できない」という困難に直面するが、自身の障害と向き合いスポーツを通して成長する事や乗り越える事への喜びを得ていく。日常生活もスポーツも自分の可能性に蓋をせず、信じる事、障がいはいはあっても、挑戦する事の大切さを伝えたい。